

## 復活と 新たな挑戦

9月8日に行われた牛久市長選挙で2期目の当選を果たした根本洋治市長が10月3日に初登庁。7日には就任にあたっての所信表明を行いました。その一部をご紹介します。



2期目4年間の市政運営にあたり、次の2つの「復活」と8つの新たな「挑戦」で、「住み続けたいまち」「選ばれるまち」を目指していきます。

### 2つの『復活』

#### ◆牛久シャトー

施設全体約6万6000㎡を年間5544万円(月額462万円)で賃貸借することでオエノンHDと合意し、同社からは市に対し、管理費の一部として月額1200万円(月額100万円)を負担いただき、賃貸借契約期間は20年間です。また、存続を第一義に考え、市主導の新会社(第3セクター)を設立し、市民の皆様の望む牛久シャトーの姿を復活・継承します。レストラン等のテナントの誘致・運営や土産物店等の経営等には民間の人材を登用し、早期に採算ベースへ到達するべく取り組みます。

#### ◆エスカード牛久ビル

テナント誘致・リーシングを専門としている民間企業を活用し、来年早期の一部リニューアルオープンを目指し、取り組んでいます。

また、計画段階ではありますが、小川芋銭や住井すゑといった画家や作家などの著名な文化人が残してくれた作品を展示する美術館の導入を検討しており、定期的に企画展を開催するなど魅力ある美術館を構想しています。

### 8つの『挑戦』

#### ◆ひたち野地区に隣接する市街化調整区域の宅地化

来年4月ひたち野うしく中学校が開校し、幼・小・中学校が一体的に集まるエリアと「ひたち野うしく駅」を核としたひたち野地区周辺に良好な住環境を整備し、人口増加の流れを再び引き戻したいと考えています。

また、牛久地区の旧市街地においては、子育て世代に魅力ある住宅地となるよう老朽化した道路を改修。そして空き家の利活用や、生活利便性の高い中心市街地への高齢者世帯の住み替え支援などについても取り組んでいます。

これらの施策により、ひたち野地区の宅地供給も含め、市全体で500世帯、15000人の人口増加を目指していきます。

#### ◆子育て・教育環境のさらなる充実

地域と学校が力を合わせて子どもたちを支えるコミュニティ・

スクールの取り組みを活性化するなど教育環境を充実させ、将来を担う子どもたちが健やかに育つまちづくりを進めます。

#### ◆牛久沼と雲魚亭、(仮称)住井すゑ記念館等の観光資源を活用した地域活性化

(仮称)住井すゑ記念館の開館を令和3年度に予定。雲魚亭や三日月橋の観光アヤマ園などと併せ牛久沼周辺観光資源へと誘導を図り、地域の活性化に繋がるよう取り組みます。

#### ◆公共交通利用困難地域の解消

高齢者への外出支援の新たな取り組みとして、ドア・ツー！ドアの送迎を行うデマンド型乗合タクシーを検討。高齢者の移動手段の確保に努め、運転免許証がなくても暮らしやすいまちづくりを目指します。

#### ◆安心安全のさらなる充実

老朽化した牛久消防署の建て替えにより災害救急体制を再構築・強化していきます。また、今後も牛久警察署と連携し、防犯カメラの設置を計画的に進めます。

#### ◆既設団地内の生活道路の計画的な改修

通学路や老朽化した交通量の多い生活道路など、優先順

位、改修年次を決めて計画的に街並みを整備し、まちのリフォームを図り、空き家の活用や人口定住促進につなげていきます。

#### ◆奥野地区における義務教育学校化

学校をこれからも存続させていくため、来年4月から奥野小学校と牛久第二中学校の既存校舎を活用し校舎分離型で、1年生から9年生までのひとつの学校である義務教育学校とすることを目指して、地域と共に特色ある学校づくりを進めています。

#### ◆高齢者・障害者の元気で安心な暮らしの実現

地区社会福祉協議会の活動を支援し、住み慣れた地域で高齢者・障害者の方々を支援する地域づくりを進めます。さらに、今後の高齢者人口および認知症患者の増加に対応するため、新たに地域包括支援センターを1カ所増設します。

本市の長期的な目標と方向性を市民の皆様と共有し、市民の皆様とともに知恵をしばりオール牛久で一丸となつてまちづくりに取り組み、一人ひとりが幸せを実感できる牛久市を実現したいと考えています。